



# KDDI JPEG コンバータ ご利用マニュアル

( Ver.1.0 )

2001/10/01



1 . KDDI(au,TU-KA)でサポートする JPEG フォーマットについて .....	2
2 . 本ソフトウェアについて .....	2
3 . ツールの説明 .....	4
4 . ソフトウェア操作手順 .....	5
4.1 コンバータの起動 .....	5
4.2 変換を行う JPEG ファイルの読み込み .....	5
4.3 ファイル情報の指定 .....	6
4.4 最適化変換処理の実行 / 保存 .....	7
4.5 ツールの終了 .....	8

#### 注意事項（必ずお読みください）

制作、発行及びその権利者は、お客様がソフトウェアを使用したことにより被ったいかなる直接的、間接的または、偶発的損害も補償いたしかねますので、ご了承ください。

ご使用されているパソコンのシステム構成によっては、正常に動作しなかったり、全く動作しない場合がありますので予めご了承ください。

本ソフトウェアの一部または全部を無断で複製、販売、ネットワークにより転送することを禁止します。

本ソフトウェア、ご利用マニュアルの記載事項については、ご利用者への事前連絡無く仕様を変更したり提供を中止する場合があります。

本ご利用マニュアルに記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

## 1．KDDI(au,TU-KA)でサポートする JPEG フォーマットについて

KDDI(au,TU-KA)でサポートする JPEG フォーマット ( KDDI JPEG ) は、JPEG 標準(JFIF\*)に準拠した画像フォーマットです。 \*JFIF: JPEG File Interchange Format

KDDI が提供する JPEG 画像表示対応機種において、データフォルダ内での画像ファイルの再生が可能です。

## 2．本ソフトウェアについて

### KDDI JPEG コンバータの基本機能

本ソフトウェアは、JPEG 画像表示対応機種向けに JPEG ファイルの最適化処理を行うソフトウェアです。

EZweb 移動機向け JPEG コンテンツについては、このツールにて処理を行ってください。

本ソフトウェアでは、各種画像編集機能（画像サイズの変更、色調整、色数の変更、明るさの調整等）には対応していません。本ソフトウェアでコンバートする前に予め必要な画像編集を行う必要があります。（画像編集には市販画像編集ソフト等をご利用ください。）

#### （１）入力ファイル形式

- ・ JPEG （JFIF 形式 ver.1.00/ver.1.01/ver.1.02）、EXIF 形式 ver.2.0/ver.2.1）、KDDI JPEG 形式
- 入力ファイルは上記 JPEG 形式のみ。

#### （２）出力ファイル形式

- ・ JPEG （JFIF 形式準拠 KDDI JPEG 形式）
- 出力ファイルは上記 JPEG 形式のみ。

#### （３）タイトル付加機能

JPEG ファイルに任意のタイトルを指定することが可能です。

ファイル自体の名称 “[xxxxxx.jpg]の xxxxxx 部分” と “タイトル” とは異なります。

#### （４）著作権保護フラグ付加機能

EZweb 対応端末への JPEG ファイルダウンロード後の 2 次利用を制限する「著作権保護フラグ」を付加することが可能です。

#### （５）CRC Check Value 付加機能

ダウンロード用ファイルに付加が必須となっている CRC Check Value の付加が可能です。

## ( 6 ) 圧縮率の変更

出力する JPEG ファイルの圧縮率を変更することが可能です。

## 動作環境

本ソフトウェアは下記動作環境での動作確認を行っておりますので、下記動作環境にてご利用ください。

・ OS	Windows95 / 98 / 98SE / ME / NT4.0 以上 / 2000
・ コンピュータ本体	CPU : Pentium166MHz 以上
	ハードディスク空き容量 : 5MB 以上
	搭載メモリ : 64MB 以上

ご使用されているパソコンのシステム構成他によっては、上記動作環境下でも正常に動作しなかったり、全く動作しなかったりする場合がありますので予めご了承ください。

### 3 . ツールの説明



- 入力ファイル読み込みボタン
- 入力ファイルディレクトリ / ファイル名表示
- ファイル保存ボタン
- ファイル保存先ディレクトリ / ファイル名表示
- タイトル名入力フィールド
- 入力ファイルプレビューウィンドウ
- 著作権保護フラグ付加チェック
- CRC Check Value 付加チェック
- 出力ファイルサイズ表示
- 設定クリアボタン
- 圧縮率指定フィールド
- 変換ボタン
- 入力ファイル名読み込みボタン
- 終了ボタン

## 4．ソフトウェア操作手順

### 4.1 コンバータの起動

[KDDIJpeg コンバータ.exe]アイコンをダブルクリックしコンバータを起動する。

このツールは特にインストール作業は必要ありません。このコンバータが入っているフォルダごとPCのハードディスクへコピーしてください。

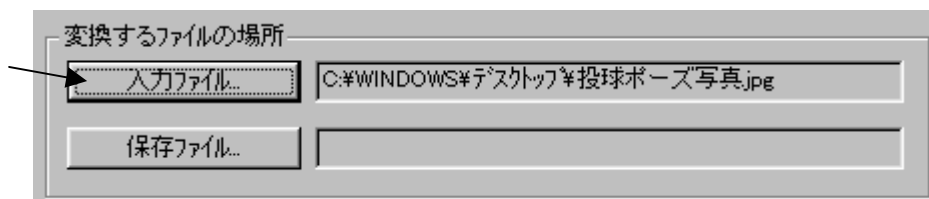
ドラッグ&ドロップでの起動にも対応しております。



### 4.2 変換を行う JPEG ファイルの読み込み

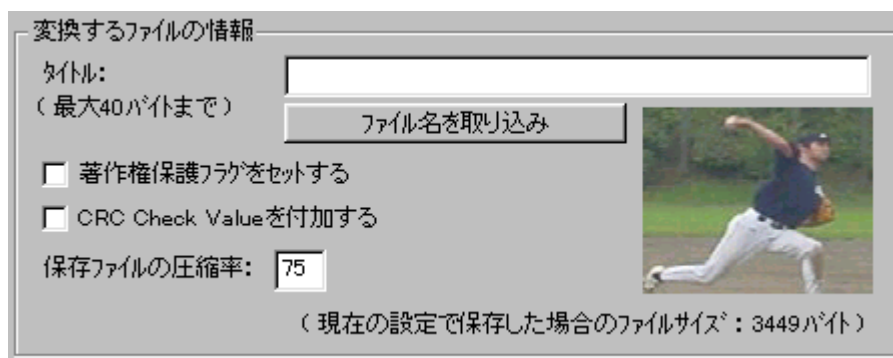
[入力ファイル]ボタンを押下し、最適化変換処理を行う JPEG ファイルをツールに読み込む。

読み込み可能なファイルは、JPEG（JFIF 形式 ver.1.00/ver.1.01/ver.1.02）、EXIF 形式 ver.2.0/ver2.1）、KDDI JPEG 形式の何れかのみ。（BMP,GIF,PNG 形式等の読み込みは不可能。）



読み込んだ画像 / ファイル情報を確認する。

- ・ [入力ファイル]ボタンの右側にディレクトリとファイル名が表示される。
- ・ プレビューウィンドウに読み込んだ画像が表示される。
- ・ 読み込んだファイルのファイル情報が表示される。



注: [保存ファイルの圧縮率]の数字は読み込んだ JPEG ファイルに圧縮率の情報が含まれていない為、実際の圧縮率を反映しておりません。

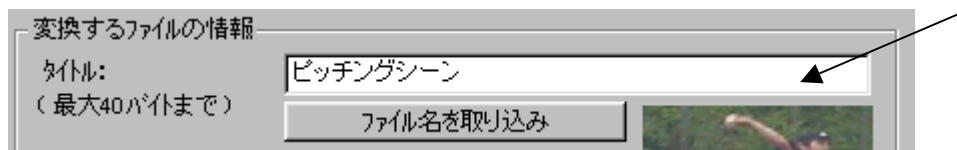
#### 4.3 ファイル情報の指定

##### タイトル名の入力

[タイトル]フィールドに、変換後の JPEG ファイルのタイトル名を必ず入力する。

(最大 40 バイト。半角=40 文字/全角 20 文字。入力可能な文字種は S-JIS のみ。)

読み込んだファイルの「ファイル名 (xxxx.jpg)」と同じタイトル名 "xxxx" 部分を入力する場合は、[ファイル名を取り込み]ボタン押下により自動入力が可能です。自動入力した後のタイトルを編集することも可能です。



ここで指定する「タイトル名」は、最適化変換処理後の JPEG ファイル自体のファイル名とは異なります。

(変換処理後の JPEG ファイル内に埋め込まれるタイトル名です。)

移動機上にて表示される JPEG ファイル名は、ここで指定する「タイトル名」が優先されます。ここでタイトル名を指定しない場合 (空欄の場合) は、JPEG ファイル自体の「ファイル名」が表示されることとなります。

##### 著作権保護フラグの付加

変換処理後の JPEG ファイルに、著作権保護フラグを付加する場合は、[著作権保護フラグをセットする]のチェックボックスに「チェック」を付ける。

☒ 著作権保護フラグをセットする

著作権保護フラグを付ける (著作権保護有りとする) ことにより、ユーザーが移動機にダウンロードしたデータの 2 次利用を制限します。(例: E メールへの JPEG ファイル添付が不可能となる。)

2 次利用を制限したいコンテンツ (JPEG ファイル) を作成する場合は、チェックボックスにチェックを入れ、「著作権保護フラグ有り」とします。

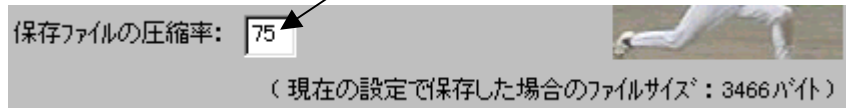
##### CRC Check Value の付加

ダウンロード用 JPEG ファイルを作成する場合、[CRC Check Value を付加する]に「チェック」を必ず付ける。

☒ CRC Check Value を付加する

チェックを付けることにより、ダウンロードに必要となる「CRC Check Value」を JPEG ファイルに自動的に付加します。

## JPEG 圧縮率の指定



入力した JPEG ファイルの圧縮率を指定 / 変更する場合、[保存ファイルの圧縮率]のフィールドにその値を入力する。  
 なお、フィールドに圧縮率の値を入力した時点で、出力時のファイルサイズが [現在の設定で保存した場合のファイルサイズ]右側に表示されます。

初期値は「75」です。指定可能な値の範囲は「001～100」となります。

< 圧縮率とファイルサイズの関係 >

- ・ 値が小さい場合 (例: 圧縮率 10%)      ファイルサイズ: 小
- ・ 値が大きい場合 (例: 圧縮率 90%)      ファイルサイズ: 大

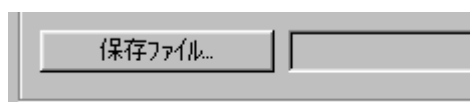
プレビューウィンドウに表示される JPEG 画像は、ファイル読み込み時のものであり、圧縮率の指定 / 変更の内容を反映したものではありません。

出力時のファイルサイズ表示は、「画像」「タイトル」「著作権保護フラグ」「CRC Check Value」を含めたトータルのバイト数をリアルタイム表示します。しかし、タイトルフィールドに文字を入力中の場合は、リアルタイムでのバイト数の反映はせず、タイトルフィールドがアクティブで無くなった時点(別の箇所を操作等)で反映します。

## 4.4 最適化変換処理の実行 / 保存

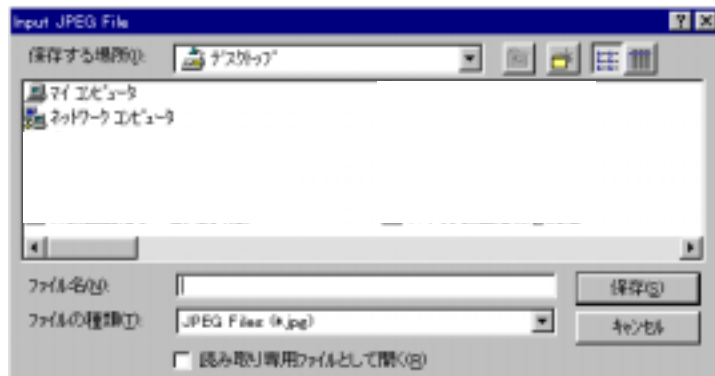
最適化変換処理済みファイルの保存先 / 保存名の指定

変換処理を行う前に、保存先 / 保存名の指定を先に行います。



はじめに[保存ファイル]ボタンを押下する。

次に表示されるウィンドウ内で保存する場所と保存名を指定します。



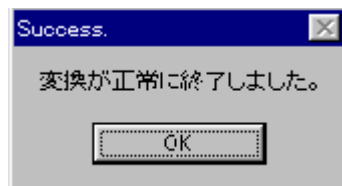
上記ウィンドウは、お使いの PC によって異なる場合があります。



この前の の指定が完了した後、[変換]ボタンを押下し、最適化変換を行う。



正常に変換処理が完了すると、「変換が正常に終了しました。」のポップアップメッセージが表示されます。



変換したファイルの内容を確認するには、再度このツールに変換後のファイルを読み、「変換するファイルの情報」欄を参照してください。(注：圧縮率の数値については反映されません。)

#### 4.5 ツールの終了

[終了]ボタンを押下し、ツールを終了する。



終了時には、指定された各種設定が保存されます。(次回起動時に設定がそのまま継続されます。)

設定を初期値に戻す場合は、[設定クリア]ボタンを押下します。

以上